

知事の職員への挨拶

令和8年6月2日

西回廊講堂

皆さんおはようございます。今ほどは大変大勢の職員の皆様に出迎えをいただき、また花束もいただきまして、本当にありがとうございます。改めまして、この度、県民の信任をいただきまして、引き続き知事の職務を担うことになりました。職員の皆様には、どうぞよろしくをお願いいたします。

これからの県政、新潟県が目指すべき姿、あるいは重要な課題や取り組むべき政策や事業、これは今年の3月に策定した県の最上位の計画である総合計画にしっかり盛り込まれています。ですから、基本的にはこの基本計画に沿ってバランスの取れた県政をやりたいと思います。

その上で、あえてこの場で強調したいことがあります。それはやはり、県内各地を選挙期間中に回ってまいりましたけれども、地域の経済、地域社会、経済を非常に心配する声がたくさんございました。地域経済の活性化ということに、とりわけ力を入れていかなければならないとそう感じているところです。

ご承知のように、残念ながら若い世代が就職のタイミングで多くの方が県外に流出をしているという実態があります。若い世代の皆さん、あるいは一旦新潟を離れた方にもこの新潟に魅力的な働く場所、あるいは自分がやりたいことに挑戦できる環境、そういったものがたくさんあるという、まさに経済に活気がある状況、一次産業が元気になることを含めて、作り出していかなければならないと強く考えている次第です。なかなか容易なことではありませんが、一緒に知恵を出して、汗をかいて取り組んでいかなければならないと思っています。

特にパートナーでもある県議会の皆様、あるいは市町村との連携、しっかり連携を取りながら、そしてまた国の色々な制度もありますので上手に活用していく。場合によってはその制度や仕組みを変えてもらい働きかけも含めて、色々な取組と知恵を出しながら、地域経済の活性化に向けて進んでまいりたいと思っています。

もう一点、色々な場面で繰り返し申し上げていることですが、私はこの県庁の組織、そしてまたその構成員である職員の皆さん一人一人を本当に大切な新潟県の財産だと思っています。一人一人の職員がその持てる能力をしっかりと発揮できるように、そのための活躍できる環境として、やはり風通しの良い職場づくり、それを皆さんと一緒に作っていかなければならないと思っています。上司や同僚、後輩も含めて自由に闊達にものが言える、議論ができる、そういう環境をしっかりと作ってまいりたいと思います。

新潟県の総合計画では副題にも入れていただきましたけれども、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」と表現しておりますが、より愛着を持って、また、誇らしく思う、そういう新潟県にしていまいりたいと思いますし、また、その持っている魅力を、多くの方々から魅力を感じて新潟県に来ていただける、そういう県を目指してまいりたいとそう思います。

引き続き、職員の皆様には、繰り返しですが、色々な課題がたくさんありますけれども、一つ一つ誠実に向き合ってくださいまして、一步でも二歩でも前進できるように取り組んでもらいたいとそうに思っています。目指す先は繰り返しですが、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」であります。しっかり活力のある新潟県づくりを皆さんと一緒に進めてまいりたいと思います。引き続き、よろしくお願いいたします。私からは以上です。